意見・質問

■難視聴・携帯電話不感地帯の解消対策について

特に中山間地において、テレビの難視聴・携帯電話の不感地域が多いため、解消に向けた取組みを早急に進めてほしい。

■市の回答

区内中山間地域は、テレビ難視聴・携帯電話の不感地域が多く、事業者との協議により解消に努めています。

テレビ難視聴については、光ネットを利用し、解消に向けた事業展開をしています。

携帯電話の不感地域解消事業は、あくまでも通信事業者が行う事業ですので、不感地帯の解消に向けて事業者に要望していきたいと思います。

江刺区内の難視聴世帯解消を目的に開局した「わいわいテレビ」。災害情報も提供。

前沢区報告
7月30日～8月2日
区内4会場で開催

意見・質問

■合併効果を感じられる市政を

合併前は良いことだけ説明していたが、合併してみると、マイナス部分が多いように思われる。市民の立場になって話をしてほしかったし、役所は一生懸命やってほしい。

■市の回答

今、合併して良くなったことをあげるのは難しい。しかし、合併することで有利な起債を借りることが出来、それを主な財源に充てながら新市建設計画などを事業展開しています。

意見・質問

■岩手競馬問題について

競馬の状況だが、何回も経費の削減・調整をしている。一体何回調整するのか。15年ほど前から馬券の売り上げ額は下降線をたどっていたはずだが、何も手当てを行わず組合運営を行ったのは、あまりにも殿様気分でいたのではないか。競馬のツケをこれからの住民・職員に残すことになると思われる。「競馬で発生した借金は、市民に負担させない」と言ってくれれば、いくら競馬をしてもよいが、そうでなければやめるべきだ。

■市の回答

本年度は、年度途中でも単年度収支がマイナスになればやめることになっています。今のところは経費を削減し、収支均衡を保っていますが、7月末現在では、売り上げが芳しくない状況です。

意見・質問

■前沢診療所の経営状況について

前沢診療所の経営状況を教えてほしい。

■市の回答

前沢診療所の18年度の状況は、医業収益のうち、入院が663万円（17年度比▲4・4％）、外来が2億1600万円（同▲30％）です。これは17年度に整形外科、18年度に眼科の医師が退職したことが原因だと思われます。患者数は減っていますが、内科は入院（同7・3％）、外来（同8・3％）ともに増えています。一般会計からの繰り入れは2億円。この2億円の繰り入れのうち、1億円は今までの借金返済分で、あとの1億円は医事事業収益減の分です。

意見・質問

■指定ごみ袋について

旧前沢町のごみ袋は良かったのに、今のごみ袋は非常に裂けやすいので改善してほしい。

■市の回答

合併時にごみ袋のサイズ、デザインを変えたため割高になり、耐久性を下げたようです。当時は丈夫だと説明を受けましたが、実際はそうではなかったようです。旧前沢町時代のゴミ袋と現在のゴミ袋の製造単価が同じなのであれば、消費者が選択するという方法も考えています。

胆沢区報告
8月7日～10日
区内4会場で開催

意見・質問

■新エネルギー政策について

米のエタノール化、バイオ燃料の取り組みには期待している。予算を増額して早く実現してほしい。農家を助けてほしい。

■市の回答

現状は、採算性やプラントを含めた事業化のめどは立っていません。その解消に向けて、課題の研究を行っています。課題解決の方向性は見えつつありますが、具体的検証はこれからです。市長からも3年程度で道筋をつけるよう指示されていますので、今後も頑張って取り組んでいきます。また、バイオ燃料については、国も補助制度を作るなど本気になっています。実用化に向けた検討を一層進めていきます。

意見・質問

■胆沢ダムの周辺整備について

胆沢区で夢・希望を持てるテーマの1つに、胆沢ダムがある。地域が発展するためにも、現在検討中のダム周辺整備構想は、夢のある内容にしてほしい。

■市の回答

「胆沢ダム周辺整備のあり方に関する研究会」も2年目に入り、旧胆沢町時代の計画を基に具体的に事業主体や実施時期などを検討中です。本年度中にまとめますが、市の観光基本構想や世界遺産などとのかかわりも含め検討していきます。今は夢を出している段階。ことし3月に中間報告をしていますが、成案になる前に皆さんに周知していきたいと思います。順調にいけば23年ごろから着手することになります。

意見・質問

■地域のまとまりの重要性

地域のあり方として、市から「あれをやってください」と言われるのを待つのではなく、こちらから「こうなりました」と市にお願いに行くことが地元の活性化につながることだと思う。時代が変わってきて、率先して動かなければ世の中を渡っていけなくなってきた。地域を守っていくためには、地域の皆さんに動いてもらわなければ駄目だと思う。地域の要望などを進める時期が来るまでに、地域としてまとまっていることが大事だと思っている。

■市の回答

これからは地域の結束です。従来のように、代表者だけが行政に働き掛ければ何とかなるというようなことではありません。旧胆沢町であればですが、これだけ広い13万都市ともなれば、それぞれの地域の結束力が地域の活性化なり地域の要望を市に上げる場合に必要になります。なかなか地域で人が参加しなくなったということですが、日ごろの地元の行事などに積極的に参加して、地元の要望を取りまとめておくことが、これから大切になってくると思います。

意見・質問

■胆沢産大豆の消費拡大について

胆沢の大豆焼酎「豆将軍」は今でも購入希望がある。今後作る予定はあるか。

■市の回答

胆沢農業公社が製品化を検討しています。現在、秋田発酵に試作品を依頼しています。胆沢の大豆の消費拡大には必要な製品との認識で取り組んでいる最中です。

衣川区報告
8月1日～8日
区内4会場で開催

意見・質問

■自主防災組織について

自主防災組織は、各集落単位での設立のようだが、それらを束ねる地区、さらには衣川全体としての組織も、横の連携を図るという意味では必要なのではないか。そうでないと、それぞれの集落組織が別個の対応をとり、結果として災害時に有効に機能しないのではないか。また、自主防災組織での活動中などに災害を受けた場合の保障制度はあるのか。

■市の回答

今のところは、集落単位の組織化を考えていますが、それが必ずしも行政区という区域に限るものではないので、皆さんのご意見を伺いながら検討していきます。また、災害を受けた場合の保障制度はありません。

意見・質問

■洪水防止策について

衣川下流に暫定堤防ができてはいるが、前回の大雨でも国道4号沿いの農協スタンドの後ろが急に水位が上がった。そういう緊急時の対応がみえず住民は不安である。また、内水面の洪水防止工事の予算はあるのか。

■市の回答

新衣川橋が出来たあとで、堤防をつなげて、逆流を防ぐことになっています。それまでは土嚢を準備し、緊急時の対応に当たります。洪水防止工事の予算ですが、農林サイドの助成金で対応せざるを得ないと思いますが、地元負担が伴うので良い方法を検討してきたいと思っています。

台風の影響で冠水した衣川区内の国道4号（平成14年）

意見・質問

■衣川中学校の建設について

衣川中学校の建設計画はどうなっているのか。また、校舎建築中の工事車両について、現在の第3分団屯所付近は狭くて保護者の送迎・通学時は大変危険になるのではないか。

■市の回答

場所は、今の中学校敷地を中心に考えています。用地は、現在の敷地も含めて1万平方㍍です。校舎の構造は、鉄筋になると思います。建設検討委員は決定しています。また校舎建設中の子どもたちの登下校については、取り付け道路の整備も含め、危険がないよう配慮します。

意見・質問

■地区センター構想について

北股・南股地区には地区センターがあるが、衣川と衣里地区の今後のセンター構想を教えてほしい。

■市の回答

北股・南股の両地区センターは4月から旧小学校を拠点に活動を開始しています。衣川と衣里地区、胆沢・前沢区は組織化されておらず、これからの地域づくりなど自立策を考え、人的体制の整備を進めていただきたいと思っています。

■問い合わせ　本庁企画調整課広聴広報係（内線418）